

より安全・快適な輸送サービスを目指して

平成24年度 鉄道事業設備投資計画

投資額102億円

京成電鉄では、平成24年度に鉄道事業で102億円の設備投資を実施し、安全輸送の確保やお客様サービスの向上に努めてまいります。



新造する3000形車両(イメージ)

今年度は、安全対策の強化として従来から取り組んできた、押上線連続立体交差事業の推進やATS（自動列車停止装置）の機能向上工事を引き続き実施します。更に、大規模地震への対策強化を図るため駅部及び高架橋や変電所等の耐震補強工事や、自然災害に備えた法面の補強等を行います。

また、通勤型車両の新造や、老朽化した鉄道施設の更新を計画的に推進するほか、お客様サービスの更なる向上を目指し、バリアフリー対応工事や東京スカイツリー®開業に伴う対応の実施等、お客様により安全・快適にご利用いただけるよう取り組んでまいります。

平成24年度の鉄道事業設備投資計画の概要は次頁のとおりです。

平成24年度 鉄道事業設備投資計画について

1. 投資額 102億円

2. 概要

(1) 安全対策の強化

①押上線連続立体交差事業の推進

- ・墨田区内連続立体化工事（押上～八広間1.5km）
高架橋新設工事等を引き続き実施します。
- ・葛飾区内連続立体化工事（四ツ木～青砥間2.2km）
用地買収等を実施し、事業の推進を図ります。

②ATS（自動列車停止装置）の機能向上

列車の安全運行をより確実なものとするため、今年度も引き続き、保安度の高いデジタルATSへの更新を進めます。

③災害対策の推進

- ・大規模地震への対策強化を図るため、駅部（町屋、千住大橋、京成八幡、京成千葉）及び高架橋、トンネルや変電所等の耐震補強工事を実施します。
- ・集中豪雨などの自然災害に備え、法面の補強等を実施します。

④踏切の安全対策の強化

踏切事故を未然に防止するため、自動障害物検知装置の更新（2箇所）、踏切支障報知装置の新設（6箇所）等を実施します。

⑤駅ホームの安全対策の強化

視覚に障害をお持ちのお客様が駅ホームから転落する事を防止するため、ホーム内側部分に線状の突起を付け、ホームの内外を知らせる内方線付点状ブロックを6駅（押上、町屋、青砥、京成高砂、京成西船、京成津田沼）に設置します。

(2) 通勤型車両の新造

省エネルギー車両の3000形を2編成（1編成当り8両）導入します。

この車両には、連結部にホームからの転落を防止するためのホロや、扉の開閉を知らせるドアチャイムのほか、車椅子のお客様にも安心してご利用いただけるよう、車椅子スペースを1編成に2ヶ所設置します。また、車内ドア上に液晶ディスプレイ（LCD）を設置し、4か国語対応（日・英・中・韓）で駅名等の案内を表示します。

(3) 鉄道施設の計画的な更新

江戸川橋梁や、一部駅舎の外壁及び屋根を改修するほか、変電所設備機器等、老朽化した鉄道施設の更新工事を実施します。

(4) サービスの向上

①エレベーター、スロープ、多機能トイレの設置

全てのお客様に駅をより安全・快適にご利用いただけるよう、駅施設のバリアフリー化を進めます。本年度は、海神駅にエレベーター・スロープ及び多機能トイレを、千住大橋駅に多機能トイレを、それぞれ設置します。

②京成八幡駅のリニューアル

京成八幡駅のリニューアル工事に着手します。今年度は、2階駅舎・コンコース部分の改修を実施します。全体の完成は平成25年度を予定しています。

③東京スカイツリー®開業に伴う対応

東京スカイツリー開業に合わせ、お客様がより安全・快適にご利用いただけるよう押上駅の自動改札機を増設するほか、案内サイン類のリニューアルを実施します。

④車両の行先表示装置の更新

車両の種別や行先を表示する装置をフルカラータイプのLEDに更新します。
（3700形6編成）

⑤駅構内店舗の新設・更新

駅の利便性を向上するため、駅構内店舗の新設・更新を行います。

(5) 環境対策等

環境にやさしいクーラーへの交換推進

車両のクーラー更新に伴い、冷媒をオゾン層を破壊しない種類のフロンに交換します。

以 上